

みずほCustomer Desk Report 2023/06/28 号 (As of 2023/06/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	143.61
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	143.47	1.0910	156.50	1.2710	0.6675
SYD-NY High	144.18	1.0977	157.92	1.2759	0.6720
SYD-NY Low	143.30	1.0901	156.42	1.2706	0.6669
NY 5:00 PM	144.09	1.0962	157.87	1.2748	0.6686
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,926.74	212.03	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	13,555.67	219.90	日本10年債	0.3700%	0.0200%
S&P	4,378.41	49.59	米国2年債	4.7627%	0.0208%
日経平均	32,538.33	▲ 160.48	米国5年債	4.0359%	0.0669%
TOPIX	2,253.81	▲ 6.36	米国10年債	3.7708%	0.0486%
シカゴ日経先物	32,860.00	225.00	独10年債	2.3620%	0.0640%
ロンドンFT	7,461.46	7.88	英10年債	4.3695%	0.0740%
DAX	15,846.86	33.80	豪10年債	3.9320%	▲0.0240%
ハンセン指数	19,148.13	354.00	USDJPY 1M Vol	9.49%	0.18%
上海総合	3,189.44	38.82	USDJPY 3M Vol	10.09%	0.08%
NY金	1,923.80	▲ 10.00	USDJPY 6M Vol	9.89%	0.04%
WTI	67.70	▲ 1.67	USDJPY 1M 25RR	▲0.83%	Yen Call Over
CRB指数	259.71	▲ 3.73	EURJPY 3M Vol	9.78%	0.11%
ドルインデックス	102.49	▲ 0.20	EURJPY 6M Vol	9.74%	0.04%

東京	143.47レベルで東京市場オープンを迎えたドル/円は公示仲値にかけて実需輸入勢のドル買いが先行し、堅調な推移。ただ、仲値を通過するとドル/人民元が下落したことや日経平均が350円超の下落を見せ、ドル/円も東京時間安値となる143.30まで下押し。午後は米金利を横目に反転上昇。143.65の高値を付けた後、143.59レベルで欧州市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル/円は、143.59レベルでオープン。ユーロ/円が実にリーマンショック以来の157円台をつけるなど、クロス円の上昇に連れて143.94まで上昇。しかし介入警戒感もあってか売りに押され、結局ほぼ変わらずの143.54レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は143円台半ばでスタート。実需の買いが先行し、143円台後半まで上昇するも、その後利益確定の売りに上値を抑えられ、小幅下落し143.54レベルでNYオープン。午前中に発表された米5月新築住宅販売件数と米6月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想より良好な内容がドル買い材料となり、144円台を突破し、144.18まで値を上げ、年初来高値を更新する。午後も米金利が高水準で推移する展開がサポートとなり、高値圏の144円台前半を中心とした底堅い推移が続き、144.09レベルでクローズ。 一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。カザークス・ラトビア中銀総裁が「インフレ抑制にはさらなる利上げ必要」との発言や、ECBラガルド総裁が「近い将来に完全な自信を持ってピーク金利に達したと宣言できる可能性は低い」との見方を示したことから、ユーロ圏の利上げが継続される思惑から、買いが優勢となり、1.0945レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引継ぎ、1.0977まで上げ幅を拡大する。その後米経済指標の内容を受け、1.0943まで下落する。午後は1.0960付近で揉み合い後、1.0962レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・田川

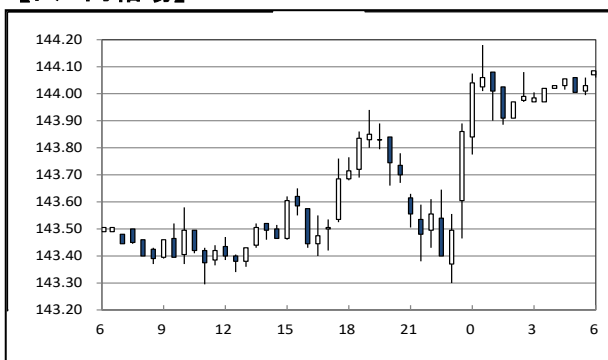
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月27日	14:00	日 景気一致指数・確報	4月 97.3	-
	17:00	欧 ラガルドECB総裁講演	「7月も利上げを継続する」	
	21:30	加 CPI(前年比)	5月 3.4%	3.4%
	21:30	米 耐久財受注前月比 / 除輸送用機器	5月 1.7%/0.6%	-0.9%/0%
	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 763k	675k
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	6月 109.7	104

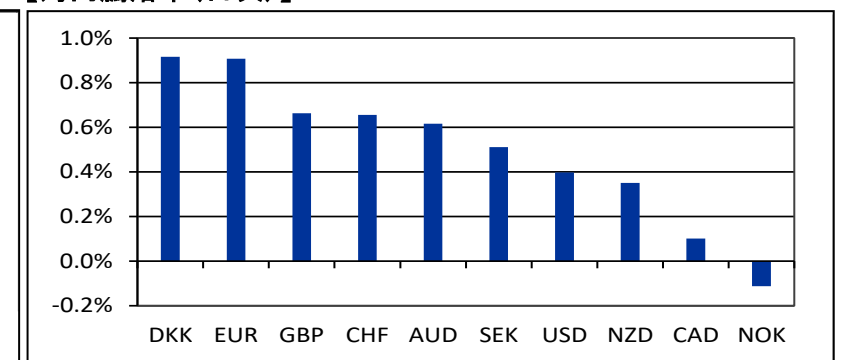
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月28日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	5月 -0.1%	-0.1%
	22:30	- 米・欧・日・英の中銀総裁が講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.50-144.80	1.0900-1.1020	156.80-158.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は143.47でオープン。仲値にかけての買いが一服すると、やや下押し圧力が強まるも下値は143.30まで。神田財務官の留任報道や当局者の牽制発言にも大きな影響はなく、海外時間入り後はユーロ円などの他通貨を中心に進んだ円売りにじりじりと水準を上げ、直近高値更新。米国時間の経済指標の好結果に一時144.18まで上値を伸ばすと、その後も高値圏を維持し、144.09でクローズした。当局者や政府関係者から円安牽制発言が相次いでいるものの、そこまで効果は出ておらず、少なくとも昨年介入が実施された水準近辺までは明確な動きが出ないという考えが大半か。四半期末を控えた実需や調整の売り、当局者のトーンアップした牽制発言には一定程度警戒しつつも、他通貨を含めた根強い円売り需要を背景にドル円は引き続き底堅い推移を基本線とし、勢いはないにしても、じりじりと高値を目指す展開を予想する。